

話題の猫カフェ

いずれも個性たっぷりな東京・名古屋・京都・大阪の猫カフェ5軒をご紹介。近所のカフェやお気に入りのコが見つかったら、今度の休みに遊びに行つてはいかが？

遊びにおいで!!

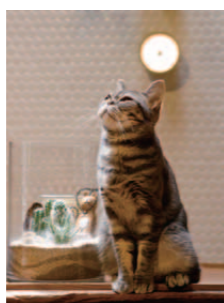
大阪
アメ村

猫の時間

町の雑踏から外れて猫と一緒に休憩。



【1】必死な形相でオモチャで遊ぶライオンカットのモップ君【2】身体は大きくても気が優しいコニニイ君もオモチャを見つけたらこの表情(笑)【3】【4】【5】ペットショップが猫の時間をプロデュースしていることもあり、カットやシャンプーをママに行えるため超毛種のコも多い【6】猫型のナチュラルクッキー(315円・人間用)【7】ブルーベリーを浮かべた3色のオレンジヨーグルトドリンク(500円)は三毛猫をイメージ。ケーキは315円【料金】入場料(18時までの1時間):840円(ワンドリンク付1050円)・延長料金(30分ごと):420円・18時以降フリータイム料金:1050円(ワンドリンク付1500円)



洋品店や雑貨店が多く立ち並び、関西の若者が集まる個性的な町アメ村。アメ村の中心とも言える三角公園(御津公園)から5分も離れない場所にショップを構える「猫の時間」の店内には、朝から深夜までたくさんの方が行きかう活気ある町の中にあるとは思えないような静かな空間が広がっている。壁一面には木製のキャットウォークが接地されていて、さらに中心には大きな木製テーブルが置かれていたためか、ハイセンスでありながらも温もりも同時に感じられる落ち着いた雰囲気だ。

猫たちは窓の外で忙しく動きまわる人間たちとは対照的にのんびりムード。店舗は2階で窓の外を眺めているコはあたたか「遊びおいで」と人を招いているかのよう。上を向いて歩いていて、うっかり可愛い猫と目が合ってしまったら、素通りするわけにはいかないかもしれない。

半年から8歳までのコがいるのだが、オモチャを出すと、皆が子猫のように遊んでくれる。猫カフェにいるコはオモチャに飽きてしまっている場合が多く、こちらがいくら頑張っても猫じゃらしを振っても知らん顔の場合が多い。猫の時間ではオモチャに飽きてしまったり、猫が遊んで疲れすぎたりしないようには使用は有料制(10分210円・2回目以降からの使用は無料になるキープ制は630円)にしているとのこと、なるほど納得のシステムだ。

猫用のオヤツ(210円)も用意されているのだが、こちらは健康のために1日の販売数に限りあり、なくなり次第終了となるため、猫たちの人気を独り占めしたい人には早めの来店がオススメだ。なお、水曜と木曜は「猫ちゃんオヤツDAY」のため、18時以降に来店した方にはオヤツ1個がプレゼントされるとのこと。週の実数は比較的に来店者が少なくこのんびりできるので、この日を狙って遊びに行くのもいいだろう。

写真:青江 崇 文:neko-mon

Shop Data

猫の時間 アメリカ村店

TEL:06-6214-2020

大阪府大阪市中央区西心斎橋 2-17-10-2FA

営業時間 日曜 11:00~21:00・火曜 11:00~19:00

他 11:00~22:00

年中無休(不定休)

www.nekonojikan.com